



## 【学習目標】

- 曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。
- 音楽表現を考えて表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。
- 楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。

## 【学習を進めるにあたって】

使用教材		
教科書	「小学生のおんがく 2」	( 教育芸術社 )
副教材		

持ち物		
教科書	鍵盤ハーモニカ	筆箱 下敷き タブレット
ファイル		

## 【学習の約束】

- 積極的に発表して自分の考えを伝えましょう。
- 楽器を大切に使いましょう。
- よい姿勢で歌いましょう。
- 音楽を楽しみながら聴きましょう。
- 学習の用意をわすれないようにしましょう。
- 次の学習の準備をしてから休みましょう。
- チャイムと同時に、授業を始められるようにしましょう。
- 呼ばれたら、大きな声ではっきりと返事をしましょう。
- 席をはなれる時は、いすを入れましょう。

## 【学習内容】

前 期	後 期
1. 音楽でみんなとつながろう 2. はくのまとまりをかんじとろう 3. ドレミであそぼう 4. せいかつの中にある音を楽しもう 5. リズムをかさねて楽しもう	6. くりかえしを見つけよう 7. いろいろながっきの音をさがそう 8. ようすをおもいうかべよう 9. 日本のうたでつながろう 10. みんなであわせて楽しもう  ※子どもたちの様子や社会情勢、他の行事との関係で学習する順序を変える場合があります。

## 【評価の観点および場面・方法】

評価の観点		評価の場面・方法
知識 ・ 技能	気持ちをこめて歌う。  リズムに合わせて演奏する。	授業の様子 歌のテスト 鍵盤ハーモニカテスト
思考 ・ 表現 判断	豊かな発想をし、演奏の仕方を工夫する。音楽を聴いて、そのよさや楽しさを感じとる。	授業の様子 発言・発表 鑑賞
取り組み 主体的に学習に 態度	主体的に音楽の学習に取り組む。	授業の様子 発言・発表 ふり返り